【部門】

【主題】年少児の自立に向けた取り組み
【副題】自分のものを自分で管理する力をつけよう

認定こども園長岡和光幼稚園なごみ保育園
３才児　ぺんぎん組

１．主題設定理由（目的）

過去に年少児を担任した際、物の紛失が起きることが度々あり、保育者だけでなく子どもたち自身で紛失防止のための習慣が身に付くことを願ったため。

また、幼稚園生活を送る上での身辺整理の基盤づくりとして年少児のうちから取り組んでいきたいと考えた。

それだけでなく、自立を促すことにより自己主張や自分で考えて行動する力、積極性を育むためにこの取り組みを始めた。

２．子どもの様子や研究内容（実践）

＜自分のものの管理＞

①入園式

→保護者一同が集まるタイミングで、「私たちからのお願い」と称し、自立に向けた働きかけや、保護者の方にご協力いただきたいことを話した。

資料①

②新しい環境になり、ロッカーの入れ間違いが起こった。

→ロッカーの記名が上部にしかなく、子どもの目線だとわかりづらかったため、下部にも記名をした。また、何をどこに収納するべきか、見本となる写真を数か所に掲示した。

③お道具箱

→お道具箱の中身を乱雑に入れている子が多かった。

男児Ａが「蓋（粘土板）が閉まらない」と訴えてくることがあり、どうしたら蓋が閉まるように中身を入れられるのか一緒に考えた。言葉で伝えるよりも、視覚的な理解の方が早く伝わるため、見本となる写真を用意した。

写真を常に掲示しておくことで、日常的に自ら整理整頓に努める姿が見られた。

★ハサミや鉛筆削りは危険を考慮して保育者が全員分預かっていたが、３学期になると安全な使用方法の理解が深まってきたため、各自に管理を任せるようにした。

④粘土遊び

→粘土ベラの本数が複数で紛失する可能性があるため、遊んでいる最中は粘土ケースの蓋を入れ物として使用した。

その結果、他児のものと混じったり紛失したりすることはなかった。

⑤おたよりケース

→各自で管理ができるよう、おたよりケースの収納ポケットを設置した。子どもの手が届き、目につきやすい場所に置いたことにより、自分自身で管理する力が身に付いた。また、収納されているかの有無が一目でわかるため、子ども同士で「○○ちゃんないよ。」「今日持ってきた？」等声を掛け合う姿が見られた。

⑥体操着や制服の袋への入れ間違え防止の取り組み

→降園前の着替え終了後に、担任が体操着袋の中身に入れ間違いが起きていないことや綺麗に畳まれているかを確認した。また、着用しているものが本人のものであるか、正しく着こなしているかも併せて確認をした。

★上記の取り組みを毎日行ったことにより、子ども自身も意識するようになったため、２学期からは確認をやめ、子どもたち自身に任せるようにした。

保護者の方にはその旨を伝え、万が一入れ間違いがあった場合は園にご一報いただくようお願いした。

一回入れ間違いが起き保護者から連絡があったが、それ以降はない。

＜自立に向けての取り組み＞

①服装を正す（靴の左右）

→衣替えを機に、服装を正す（体操服をズボンにしまう､ボタンを留める）ことに力を入れるようになった。最初はできないことを訴えてくる子どもが多く居たが、できるようになってくると自分だけでなく友だちを手伝う姿が増えていった。

上履きも同様で、左右がわからない子に対し声を掛け合う様子も見られた。

②当番活動

→①の様子の中で互いに助け合う姿から、当番活動を取り入れ集団の中での自立を目指した。当番内容は保育者と子どもで考え、係決めは自分の担当したいものを選択した。

当番活動の内容においては以下の通りである。

・椅子／ロッカー係（椅子の重ね方／ロッカーが整理整頓されているかのチェック）

・服装／ズック係（服装／上履きを正しく着用しているかのチェック）

・体操着袋持ち帰り係（降園時に体操着袋がカゴの中に残っていないかをチェック）

・ごみ／食べこぼし係（給食後に床に落ちているゴミを拾う）

・お道具箱係（お道具箱の中身が整理されているかチェック）

・おたよりケース係（収納ポケットの中におたよりケースが入っているか、また入っていない人の把握をする）

★係に対して意欲の差があり、いつも行っている子とそうでない子が居た。また、３学期頃からは自発的に取り組むことが減り、保育者が声を掛けることが多くなった。

★アレルギー児がゴミ／食べこぼし係を希望したが、アレルゲンとなる食物に触れる可能性があるため、特別な配慮が必要となった。

③サークルタイム

→３～４人でグループ名を決める話し合いを行うことが１学期後半からあったが、意見がまとまらずグループ名決定までに時間を要していた。何度か話し合いを行っていくうちに、自分の意見を言える子が増え話し合う時間が短くなっていったが、一方でなかなか意見を言えない子も居た。

そこで、自分の気持ちを伝えたり友だちの言葉を聞いたりする力を伸ばすために週に１～２回サークルタイムを導入した。

事前にテーマを伝えておき、最初は好きな食べ物や色など答えやすいものにすることで、発表に対し苦手意識がある子も心構えをして臨むことができた。

④進級に向けての目標
→３学期始業式の園長先生の挨拶で進級の話があり、それをきっかけに子どもたち自身で進級を意識する発言や行動が増えていった。
　そのような子どもの姿から、３月になり進級に向けての目標をみんなで考えることに。「どんないるか組のお兄さん・お姉さんになりたいか」というテーマでサークルタイムを行うと、活発な意見交換がされ、それらを書き出し可視化を試みた。資料②③

　ただ目標を立てるだけでなく、少しずつ実行できるように毎日その中から子どもたち自身で一つ選び、前日の帰りの会や当日の朝の会で声に出して読み上げることにより、より強く意識できるようになった。

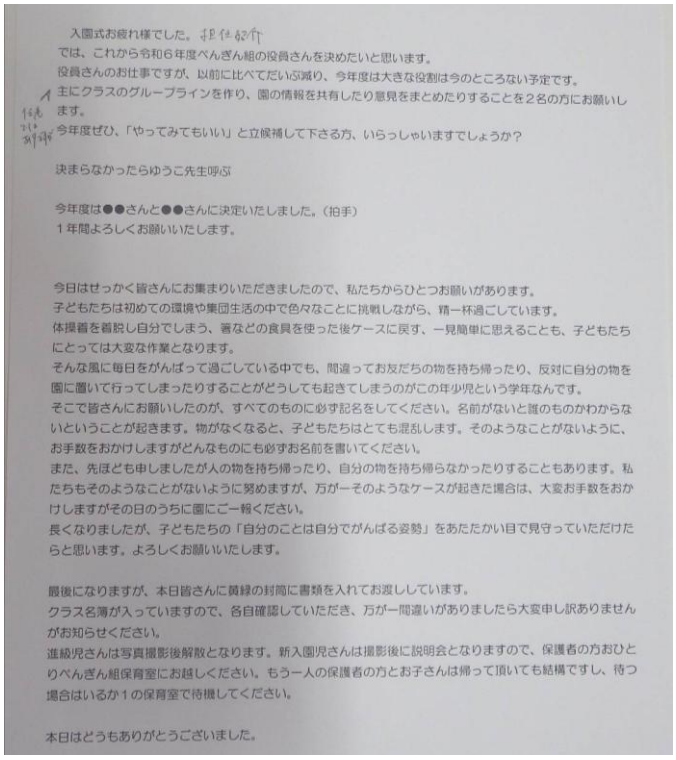
　３学期末にそれらが達成できたか全員で一つ一つ振り返り、達成ができた項目にシールを貼っていくと、喜びと自信を感じている様子だった。また、進級に対して緊張を感じていた子も前向きな姿勢へと変わっていった。

３．まとめ
　１学期から自分のものの管理に力を入れていたこともあり、「責任を持って管理する」という意識が根付いた。また、パズル等の共有物においてもなくさないように気を付けながら遊ぶ様子も見られるようになった。
　自分でできることが増えた一方で、紛失に繋がるような行動も多く見られた。ポンキーペンシルを削る際、ゴミ箱の上で行うよう指導したところ、うっかり落としてしまう子が数名居た。その際は対策として、削りカスを入れるカップを用意し、机の上で削ってからゴミ箱内に捨てるように促した。ゴミ箱内に落とすことはなくなったものの、削ることが楽しくなり必要以上に削りすぎてしまうことがあった。
　今後は紛失防止に努めると同時に、加減を考慮しながら自分の物を大切に使えるようになってほしい。

　自立を目指すために導入した当番活動においては、先述の通り意欲を見せる子とそうでない子で大きく差があったため、進級後も当番活動を行う場合は全員が意欲的に取り組めるような内容・方法が必要だと考えた。

　サークルタイムでは、人前で話す力や自主性は育まれたように感じるが、意見交換には至っていない。
　今後は他児の意見に質問を投げかけたり、自分の意見を付け加えたりして、「話し合い」としてさらに充実していくことを期待している。

資料①



入園式お疲れ様でした。担任紹介
では、これから令和6年度ぺんぎん組の役員さんを決めたいと思います。
役員さんのお仕事ですが、以前に比べてだいぶ減り、今年度は大きな役割は今のところない予定です。
主にクラスのグループラインを作り、園の情報を共有したり意見をまとめたりすることを2名の方にお願いします。
今年度ぜひ、「やってみてもいい」と立候補して下さる方、いらっしゃいますでしょうか？

決まらなかったらゆうこ先生呼ぶ

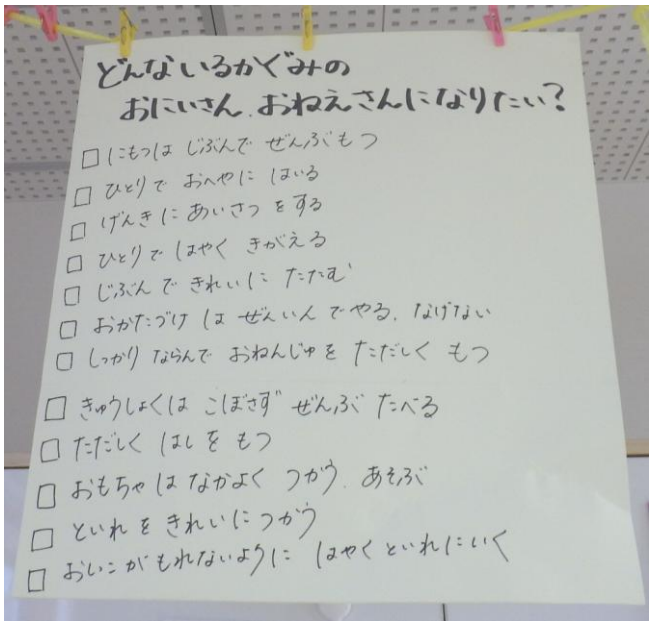
今年度は●●さんと●●さんに決定いたしました。（拍手）
1年間よろしくお願いいたします。

今日はせっかく皆さんにお集まりいただきましたので、私たちからひとつお願いがあります。
子どもたちは初めての環境や集団生活の中で色々なことに挑戦しながら、精一杯過ごしています。
体操着を着脱し自分でしまう、着などの食具を使った後ケースに戻す、一見簡単に思えることも、子どもたちにとっては大変な作業となります。
そんな風に毎日をがんばって過ごしている中でも、間違ってお友だちの物を持ち帰ったり、反対に自分の物を園に置いて行ってしまったりすることがどうしても起きてしまうのがこの年少児という学年なんです。
そこで皆さんにお願いしたのが、すべてのものに必ず記名をしてください。名前がないと誰のものかわからないということが起きます。物がなくなると、子どもたちはとても混乱します。そのようなことがないように、お手数をおかけしますがどんなものにも必ずお名前を書いてください。
また、先ほども申しましたが人の物を持ち帰ったり、自分の物を持ち帰らなかったりすることもあります。私たちもそのようなことがないように努めますが、万が一そのようなケースが起きた場合は、大変お手数をおかけしますがその日のうちに園にご一報ください。
長くなりましたが、子どもたちの「自分のことは自分でがんばる姿勢」をあたたかい目で見守っていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、本日皆さんに黄緑の封筒に書類を入れてお渡ししています。
クラス名簿が入っていますので、各自確認していただき、万が一間違いがありましたら大変申し訳ありませんがお知らせください。
進級児さんは写真撮影後解散となります。新入園児さんは撮影後に説明会となりますので、保護者の方おひとりぺんぎん組保育室にお越しください。もう一人の保護者の方とお子さんは帰って頂いても結構ですし、待つ場合はいるか1の保育室で待機してください。

本日はどうもありがとうございました。

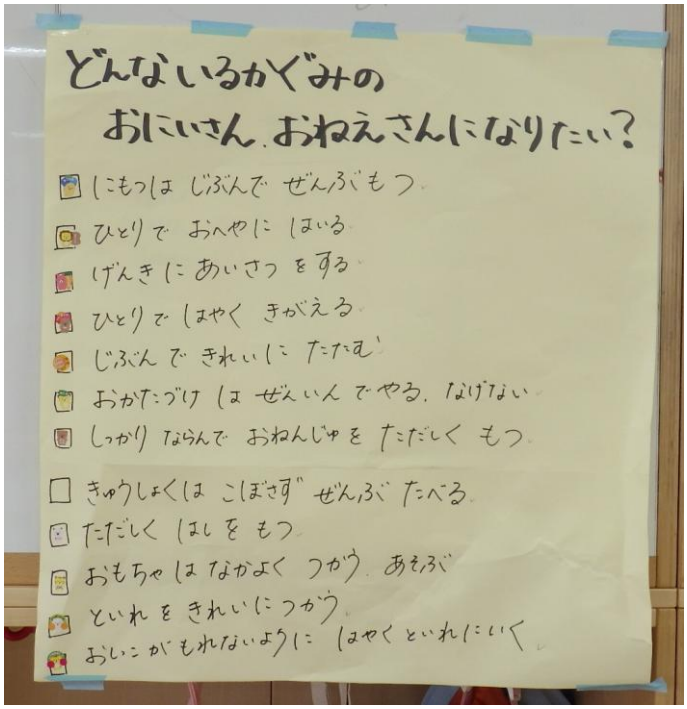
資料②



どんないるかぐみの
おにいさん、おねえさんになりたい？

- □ にもつは じぶんで ぜんぶ もつ
- □ ひとりで おへやに はいる
- □ げんきに あいさつ をする
- □ ひとりで はやく きがえる
- □ じぶんで きれいに たたむ
- □ おかたづけ は ぜんいん でやる、なげない
- □ しっかり ならんで おねんじゃを ただしく もつ
- □ きゅうしょくは こぼさず ぜんぶ たべる
- □ ただしく はし を もつ
- □ おもちゃは なかよく つかう、あそぶ
- □ といれを きれいに つかう
- □ おしっこが もれないように はやく といれに いく

資料③



どんないるかぐみの
おにいさん、おねえさんになりたい？

- にもつは じぶんで ぜんぶ もつ
- ひとりで おへやに はいる
- げんきに あいさつ をする
- ひとりで はやく きがえる
- じぶんで きれいに たたむ
- おかたづけ は ぜんいん でやる、なげない
- しっかり ならんで おねんじゃを ただしく もつ
- □ きゅうしょくは こぼさず ぜんぶ たべる
- □ ただしく はし を もつ
- □ おもちゃは なかよく つかう、あそぶ
- □ といれを きれいに つかう
- □ おしっこが もれないように はやく といれに いく